

(件名)日本人慰霊碑への訪問について

8月13日、所長以下、当事務所スタッフが日本人慰霊碑を訪問しました。樺太で亡くなられた方々を追悼するため、清掃を行った上で、献花、黙とうを行いました。

例年は日本人会の清掃事業に参加していますが、本年は当事務所のスケジュールが合わず、単独でお参りしたものです。

この慰霊碑は霊園の中にあります。草木は生い茂っていますが、監視カメラも設置され、きれいに管理されており、ロシア人の墓碑と同じように佇んでいます。

平和のありがたさ、先人たちへの感謝を一層強く致しました。

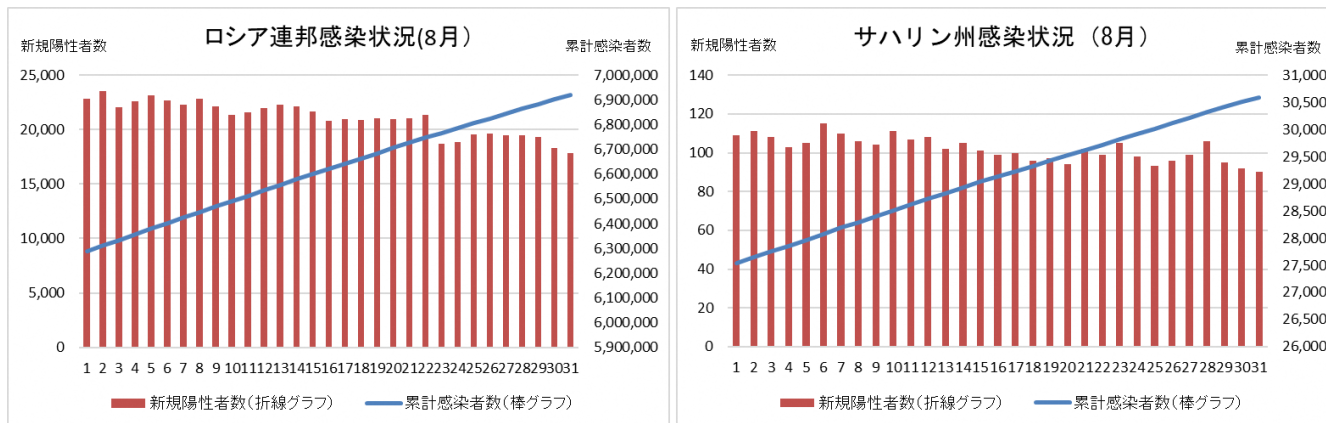


(件名)新型コロナ感染状況について

■直近の感染状況

8月30日現在のロシア及びサハリン州における直近2週間の新規陽性者発生は下記のとおりです。

漸減傾向ではあるものの、人口が約50万人であるサハリン州では、北海道の人口に置き換えると、1日当たり平均1,000人以上の感染が発生している計算となり、依然として高位な水準です。



■ワクチンや行動制限に関する情報

8月30日現在のサハリン州のワクチン接種済み人数は16万6740人、接種対象人口のうち53%とされており、政策目標の60%に向け、ワクチン接種が急がれます。

当地では50人以上の屋外イベントが禁止されていましたが、参加者がワクチン接種済または陰性証明を提出できる場合に限って開催可能となり、学校行事なども、手指消毒などを励行することで開催が認められることとなりました(8月24日、州政府公式サイト)。

また、重症患者数が減少傾向であることから、8月30日、従業員のワクチン状況に関する企業への検査を中止すると発表されました(州政府公式サイト)。

(件名)カーボンニュートラルに関するサハリン州とのオンライン会議実施について

8月5日に、標記に関するオンライン会議を実施しました。

再生可能エネルギーの利活用や、森林等による二酸化炭素吸収量の確保、サハリンでのガス化など、相互の取組について情報交換しました。

森林が面積の約70%を占めていること、再生可能エネルギー等の資源に恵まれていることなど、サハリン州の状況は北海道と似ています。積雪寒冷・広域分散型という本道の地域特性から、道民一人あたりの温室効果ガス排出量は全国平均の約1.3倍と高く、道においても2050年までのゼロカーボン北海道の実現を目標としている中で、サハリン州の政策動向は注目に値するものです。

9月以降もオンライン会議を行うことで合意しており、引き続き情報交換を行っていきます。

